

手塚よしお

衆議院議員候補



立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

市民と野党の共闘

手塚仁雄プロフィール

1966年（昭和41年）9月14日、音楽評論家。
故いソノでルラの次男として目黒区に生まれる。
若草幼稚園、目黒区立宮前小、世田谷区立八幡中、
早大本庄高等学院、早稲田大学第一文学部卒業。
都議1期、衆院4期、元首相補佐官。
党幹事長代理、党東京都連幹事長。

コロナ対策最優先で
消費税5%へ引き下げ
所得税は実質ゼロ

※所得制限あり

1993年「日本新党」時代
からの仲間です。党内随一
の「縁の下の力持ち」で、
人と人の縁を紡ぎ、野党
共闘の舞台を整えて
くれています。

立憲民主党 代表
枝野幸男

弁護士
宇都宮健児

昨年の都知事選では、
私と一緒に戦ってくれました。
ひとりひとりが大切にされる
平和な社会の実現に、
手塚さんの力が必要です。

第49回
衆議院議員選挙
候補者ビラ 37号
東京都選管

手塚よしおの存在には、
東京における
「市民と野党の共闘」は
実現しませんでした。
手を携えて共に新しい
政治を実現させ
ましょう。

日本共産党 書記局長
小池 晃

中学生のひとり
息子を温かく見守る
父親の顔も持つ手塚
さん。大の野球好きで、
人情味あふれる
人柄を慕う仲間
も多く、私もその
ひとりです。

立憲民主党
代表代行
蓮舫

手塚さんは
信頼して本音で話
せる政治家です。
約束を守る人に
あなたの願いを
託してほしい。

れいわ新選組 代表
山本太郎

元内閣総理大臣
野田佳彦

首相補佐官として
私を支えてくれました。
この国の未来には手塚
が必要です。石にかじり
ついてでも勝ち上が
させてください。

くらしを立て直す力になる。

隠ぺいや改ざんだらけの自民党政権のもと、一部の富裕層や大企業にアベノミクスがもてはやされ、富めるものがますます財をなす一方で、普通の生活を営む私たちのくらしはどこか置き去りにされてきました。そして世界中をおおうコロナ禍において、緊急事態宣言がいったん解除されながらも、ぬぐいきれない不安感が社会全体に横たわっています。

もちろん昨年からのコロナ感染拡大は、たとえどんな政権が対応しようとも、難しい舵取りを迫られたでしょう。とはいえ、後手後手で中途半端なコロナ対応は決して評価できるものではありませんし、今なお次なる第6波への備えが不充分で、有効な経済対策を打ち出せていないことも残念な事実です。

私たちが、新しい政権を任せられたなら、何をするのか。

いちばん大切なことは、私たちの生活をしっかりと立て直していくことだと考えています。名目GDPでは世界第3位の経済大国でありながらも、OECD世界38か国において、過去20年間で平均所得が減少し、労働賃金がまったく上昇していないのは日本だけです。

くらしを立て直すために、まずは消費税を5%に下げ、所得税を実質ゼロにして、必要な現金給付をおこないます。株取引などの利益にかかる金融所得課税を10%上げ、所得税の最高税率45%を5%上げ、法人税率を累進化して100億円超規模の大企業に応分の負担を求めるだけで、消費税5%分の収入が確保できる試算が明らかになっています。政治の決断で、税のありかたは必ず変えられます。

また、子ども・子育てに関する予算を大幅に増やすことや、互いの多様性を認め合える社会をつくることも、私たちが描くこの国の未来像です。

私が、「あなたのくらしを立て直す」、その力になる覚悟です。どうか手塚よしおにやさせてください。

手塚仁雄

「市民と野党の共闘」で新しい政治を

立憲民主党

日本共産党

れいわ
新選組

社民党

東京・
生活者
ネットワーク

緑の党
新社会党

56
市民連合

立憲民主 民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

#政権取ってこれをやる

(抜粋)

当たり前の日常を取り戻す。誰も取り残さない平和な社会をつくる。嘘とごまかしのない「まっとう」な政治へ。命と暮らしを最優先にする政治へ。私たちがその先頭に立ちます。

分配なくして成長なし!

みんなを幸せにする経済政策

- 消費税は5%へ引き下げ
- 所得税は実質免除 ※所得制限あり
- 生活に困っている人へ現金給付を
- 優遇されている大企業に、相応の法人税負担を求める
- 株の売買などで得た利益にもしっかり課税する
- 最低賃金1,500円を将来的な目標に
- 派遣法を見直し、希望すれば正規雇用で働く社会へ

子ども最優先!

子ども・子育て政策を強化

- 子ども・子育て予算を倍増し、「子ども省」創設へ
- 出産育児一時金を引き上げ、出産費用の無償化を
- 児童手当の所得制限撤廃と高校卒業まで対象を拡大
- 義務教育の学校給食を無償化
- 将来的に小中高の30人以下学級をめざす
- 高校授業料無償化の所得制限を撤廃

多様性を認め合う

「差別のない社会」へ

- 選択的夫婦別姓制度を早期に実現
- 同性婚を可能とする法制度実現をめざす
- DV対策や性暴力被害者支援などを充実
- インターネット上の誹謗中傷をふくむ、性別・部落・民族・障がい・国籍などあらゆる差別の解消をめざす

気候危機に歯止めをかける

自然エネルギー立国実現

- 原発に依存しないカーボンニュートラルの実現へ
- 原子力発電所のない社会をめざす
- 自然エネルギー電力を2030年に50%へ

命と暮らしを守るために コロナ戦略の3本柱

医療現場を徹底的に支援

「コロナ患者の救急搬送先がない」この日本でそんな事態が起きています。医療崩壊を招かないため、あらゆる手段を講じます。

- 病床・療養施設の確保のため全力をあげる
- 医療機関の減収分に対する経済的支援
- 医療従事者への慰労金支給や復帰支援

感染を封じ込める

- 手軽に安価に、PCR検査をさらに拡大
- 希望者のワクチン接種をさらに進める
- 経口治療薬などの開発に全力を

暮らしと事業を守る

- 生活困窮者や子育て世帯、学生支援など、コロナで生活を脅かされているすべての人を支援する
- 「自肃と給付のセット」を再徹底する
- 生活困窮者や子育て世帯、ひとり親や学生など、持続化給付金・家賃支援給付金・休業協力金・雇用調整助成金特例など、再給付・延長・要件緩和へ

手塚よしお

